

2月号

あーち arch-tsushin 通信



あーち博物館

いのちを感じる、
つながるいのち

日時: 3月2日(土)、5日(火)~7日(木)

10:30~16:30

場所: 「こらぼ・あーち」

2011年に「あーち」で取り組んだ子ども劇「諏訪山動物園物語」が絵本になりました。この絵本の原画展と、福島原発事故で被害を受けた動物たちの写真、それに「らくがきおばさん」こと能勢伸子さんのアートを組み合わせた、「いのち」を感じる空間です。

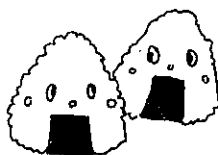
3月2日(土)14:00~16:00には警戒区域に取り残された動物を救う取り組みをしている吉沢正巳さんにトークショーをしていただきます。

「ちびころおにぎりがなみはなあに？」

作・絵: おおいじゅんこ

出版社: 教育画劇

発行日: 2011年3月



ママさんが作ってくれたおにぎりたち。

けれど、ちいさなちいさなちびころには中身がありません。みんなでちびころの中身を探しに旅にでます。さいごには中身が見つかってひと安心。

読みながら「どんな具が好き？」と会話もはずむ1冊です。本を読んだあとに一緒におにぎりを作ってみてもいいですね♪ちびころにも中身を入れるのを忘れなく♪ (吉田)

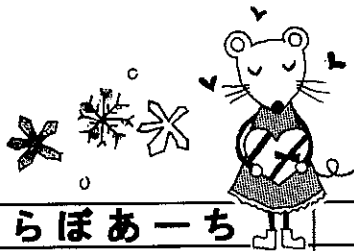
えんじえる君 by Bon



2013年2月号 vol.89

神戸大学大学院サテライト施設
「のびやかスペース あーち」
〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3-6-18
TEL&FAX 078-805-6090 [開館: 火~土曜日]
Email arch@h.kobe-u.ac.jp
<http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>

神戸大学大学院人間発達環境学研究所
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971

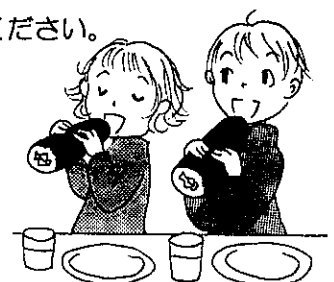
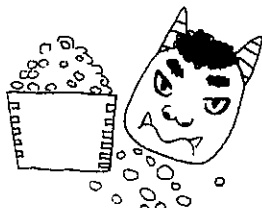


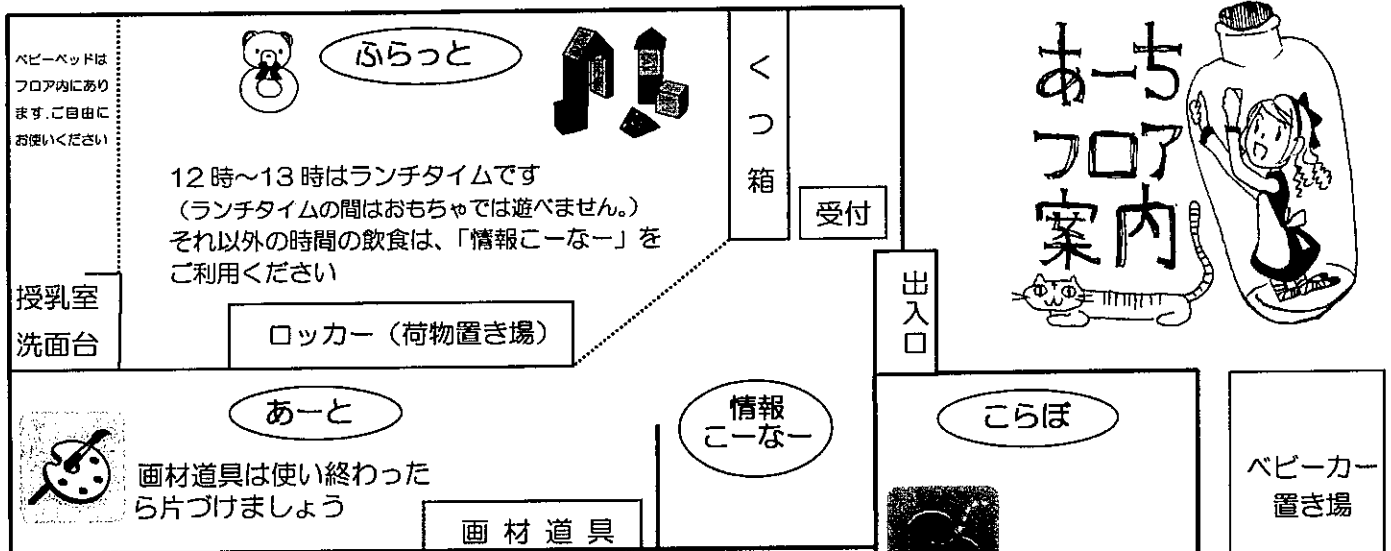
2月予定表



		こらぼあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	金	居場所づくり 3時～6時		
2	土			
3	日	休 館		
4	月			
5	火		あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
6	水			
7	木	子ども家庭支援企画会議（午後）		ベビーマッサージ（はいはい） 11時～
8	金	居場所づくり 3時～6時		
9	土	あーち人形劇セミナー「子どもの遊びの変化と子育て支援」（午後）		
10	日	休 館		
11	月			
12	火			おひさまひろばあーち（午前中）
13	水	ほのぼの音ランド 11時20分～		おりがみあそび 2時30分～
14	木	あーち♥ビギナース交流会（予約制） （6か月未満のお子さん） 1時30分～3時	筆をもとう 1時～2時30分	
15	金	親子わらべ歌あそび 11時20分～ 居場所づくり 3時～6時	アートセラピー 3時30分～5時	
16	土	ぽっとらっく（予約制）午後		紙芝居 11時～
17	日	休 館		
18	月			
19	火	あーち通信編集会議 1時30分～	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
20	水			
21	木	子ども家庭支援企画会議（午後）		ベビーマッサージ（ねんね） 11時～
22	金	居場所づくり 3時～6時／らくがきおばさんがやってきた 3時30分～		
23	土	おはなしの国 1時30分～2時 音楽の広場 2時30分～		
24	日	休 館		
25	月			
26	火	博物館実習（準備）		おひさまひろばあーち（午前中）
27	水	博物館実習（準備）		おしゃべりほっとタイム 11時～
28	木	博物館実習（準備）	筆をもとう 1時～2時30分	

- ・予約制以外の、どのプログラムも参加（見学）することができます。
- ・プログラム参加の年齢制限はありませんが、内容などの詳細は受付までお問合せください。
- ・「ベビーマッサージ」にご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。
- ・「アートセラピー」「らくがきおばさんがやってきた」は汚れてもいい服装でご参加ください。





～お気軽にお声をかけてください～

<ふらっと相談員>

- 火曜 午前 保育士 助産師
午後 灘区地域活動支援コーディネーター
- 水曜 全日 元母子相談員
午前 臨床発達心理士 (不定期)
NPO 法人マザーズサポーター協会 (第4水)
- 木曜 午前 助産師 (月2回)
午後 歯科医師 (第1木)
- 金曜 全日 発達相談員
午後 灘区地域活動支援コーディネーター
- 土曜 午前 助産師 (第2土)

あーちのルール

- ☆オムツやゴミは必ず持ち帰りましょう
- ☆託児の機能はありません
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です

しんと
しずかな。
ほん

デボラ・アンダーワッド
レサ・タリウスカ 絵
江國 香織 訳
光村教育図書

にぎやかな
ほん!

同じ音を聞いても

受けとめ方は人それぞれ。

共感できるときは

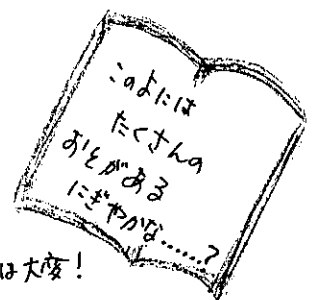
楽しいですが

そうでないときも...

耳がわりたり

今・ここで。音たてはいいよ

驚いて事故につながっては、大変!



こういう時は どうすればいいかな? まわりの人はどんな気持ちになってしまうかな?

直接的な コーピングはありませんが どのページからも語られていると思います。

気配り・思いやり・躰にもつながっているのでは? こどもとはなしあってみてもいいかな? 作家



子育て一歩二歩

第十二回「限界？」



まりまり

何とか里帰りを果たし、予定日より十日早く、元気な女の子を出産した。

産後一か月の母子検診を終えるとすぐ、高知に帰還。

気合は十分。

徳島の実家にいる間、高知での生活の練習と、

事前に自宅を新生児&幼児バージョンに変更してあったことも効果を発揮。

生活リズムも問題なし。

買い物も宅配に切り替え。

家事と育児の両立は完璧！

の、はずだった。帰宅後三か月までは。

とにかく、時間が足りない。

一日の育児がすべて終わるとすぐ夫の帰宅。

その後、昼間でできない家事を済ませば深夜。

日中は幼い子ども達の感情をひたすら受け入れ、愛情の全てをそこにつぎ込んでいく。

異年齢の子どもの生活リズムのすり合わせ、上の子どもと一对一の時間の確保……。

徐々に積み重なる慢性的睡眠不足と疲労。

休息すらままならない。

自分の過去や環境に左右されない家庭を築くと心に決めたものの、毎日がまるで崖を這い登るようだ。

加えて長女のかんしゃくが激しくなり、一度気に入らないと周りが振り向くほど激しく泣き叫ぶように。

迷惑がかからないように気を付けて外出しても肩身が狭い。人の視線が気になる。

他の子どもは何て育てやすそうなのだと憂い、落ち込んでしまう。

子育ての疲弊は想像以上。

そんな時に限って、お店で心無い人から悲しい言葉を投げつけられ、へこむ。

いつしか、育児サークルや保育園の園庭開放は大泣きする長女への人の目が気になって連れ出せなくなっていった。

たまりかねて実家に身を寄せようとするも、何やら落ち着かず余計に気疲れして帰宅。

（もうダメだ。今日こそ、夫に聞いてもらおう……。）

喋る気満々で夜、子どもを寝かせつける。ただこの時間、一日のうちで私が最も緊張し細心の注意を払う。

添い寝している腕を十センチ動かすのに百ずつカウントしながら少しずつ離れていく。

ようし、もう少しで夢の中だ……。

ガチャガチャ。バタン！

ガサ！ガチャ。

「ただいま。」

夫である。

夫は夫なりに家族を考え、急いで仕事を片付け自分の家に帰ってきたつもりだろうけど。

起きてしまった子どもたちを再び寝かせ家事を済ませ、振り返ると夫はいびきをかいて夢の中。

「出て行ってやる～！！」

玄関を飛び出し、寒風吹きすさぶ野外に頭が冷やされ、裏の畑を一周して帰ってきた。

こんな時、自分を少しでも褒めることができたなら、少しは楽になれるのだろうか。

不器用ながらもよくやっている。大丈夫だと。

つづく。